

特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会からのお知らせ

1. 総会のお知らせ

日 時：8月19日（土）14：00～14：40

場 所：第1会場（大妻講堂）

※正会員の方は必ずご出席ください。

2. 日本スポーツ栄養学会 受賞者講演

日 時：8月20日（日）14：30～15：00

場 所：第1会場（大妻講堂）

座 長：吉岡 美子（京都産業大学 現代社会学部 健康スポーツ社会学科）

<学会賞・奨励賞>

日本スポーツ栄養学会では、スポーツ栄養学領域における活動研究や実践活動を推進していくために、学会賞および奨励賞を設置しています。これらの賞は、本年度の『日本スポーツ栄養学会誌』（当該年度の学会誌）に掲載された研究に関する論文（原著および短報）と実践活動の報告（実践報告）から選出されます。研究誌への積極的な投稿をお願いいたします。

【学会賞】

- (1)スポーツ栄養学領域における研究活動および実践活動に対し、顕著な業績のあった者で、現在も研究および実践活動に従事している者を対象とします。
- (2)受賞対象者は、本学会の正会員である個人です。
- (3)『日本スポーツ栄養研究誌』に掲載された業績が対象となります。
- (4)学会賞は、毎年2件以内とし、総会にて賞状および副賞を授与します。

【奨励賞】

- (1)スポーツ栄養学領域における研究活動および実践活動に対し、将来の展望を期待し得る満40歳未満（受賞年の4月1日現在）のものを対象とします。
- (2)受賞候補者は、本学会の正会員である個人です。
- (3)『日本スポーツ栄養研究誌』に掲載された業績を対象とします。
- (4)奨励賞は、毎年3件以内とし、総会にて賞状および副賞を授与します。

<受賞論文>

【学会賞】

該当なし

【奨励賞】

糖質摂取のタイミングの違いが運動後の筋グリコーゲン回復率に及ぼす影響

（日本スポーツ栄養研究誌 第10号 p.38-47 掲載）

稲井 真（東京大学 大学院総合文化研究科）

大学生アスリートの食生活における変容ステージ及びセルフエフィカシー尺度の作成

（日本スポーツ栄養研究誌 第10号 p.26-37 掲載）

佐藤 愛（園田学園女子大学）

3. 研究発表抄録作成要領

日本スポーツ栄養学会第4回大会にて発表された内容は、『日本スポーツ栄養研究誌11号』に抄録を掲載いたします。下記の手順で研究用抄録を作成し、平成29年9月30日（土）までに日本スポーツ栄養研究誌編集事務局へWordファイルをお送りください。

1. 原稿はA4版（縦）横書きで作成してください。
2. 冒頭に「演題タイトル」「発表者・共同発表者氏名」「発表者・共同発表者所属」を明記してください。発表者の所属が複数ある場合は、発表者の後に上付きの数字を付け、対応が明確になるようにしてください。
3. 本文は、分野に応じて小見出しをつけて作成してください。
 - ・調査・研究発表の場合
【背景および目的】【方法】【結果】【考察】【まとめ】
 - ・実践報告に関する発表の場合
【スポーツ栄養マネジメントの目的】【スクリーニング】【アセスメント】【サポート計画】
【実施】【モニタリング】【栄養マネジメントの評価】【考察およびまとめ】
4. 引用文献がある場合は、文献を日本スポーツ栄養研究誌の投稿規定に従って記載してください。
5. 本文の文字数は1,300字以内とします。（小見出し、引用文献を含みます）
6. 図表を入れることはできません。
7. 本文の最後にキーワードを3～5個記載してください。
8. ファイルはMicrosoft Wordで作成し、ファイル名を発表者名としてください。それ以外のファイル形式では受け付けできませんのでご注意ください。
9. 抄録原稿は平成29年9月30日（土）までに、編集事務局（jsna@med.omura.jp）のメールアドレスへ添付してお送りください。なお、原稿は平成29年9月1日（金）より受け付けます。

日本スポーツ栄養研究誌 編集委員長 松本 恵